デジタル補綴咬合医科学特論

Advanced Course of Digital Prosthetic Occlusion Medicine

キーワード

- ① CAD/CAM法
- ② 積層造形法
- ③ 一体型有床義歯
- ④ インクジェット材料
- ⑤ 健康増進支援補綴装置

授業概要

歯科における3Dプリンターは、クラウン、ブリッジ、有床義歯、さらにはプロビジョナルやスプリント、マウスガードなどに応用可能と考えられる。当分野では特に高齢者に対する有床義歯（全部床義歯、部分床義歯）に関して3Dプリンターの特徴を応用した新たな構造とその製作方法、同時に新たな材質および歯の欠損を有する高齢者への有床義歯の提供方法について検討している。そして、有床義歯の装着による咬合構築が高次脳機能と自律神経活動におよぼす影響について研究を進め、高齢者のQOLの向上と健康寿命の延長の実現について共に考察する。

授業科目の学修目標

これからの歯科補綴装置の製作法はデジタル化にある。授業では①従来のCAD/CAM法の特徴を認識する。②これからの積層造形法の特徴を修得する。③世界初の一体型有床義歯製作法を身につける。④歯科用インクジェット材料の特徴を認識する。⑤一体型有床義歯の特徴を生かした健康増進支援補綴装置について修得する。

授業計画

- ① 従来のCAD/CAM法による補綴装置製作の特徴 4コマ 玉置勝司
- ② これからの積層造形法による補綴装置製作の特徴 4コマ 玉置勝司
- ③ 世界初の一体型有床義歯製作法について 8コマ 玉置勝司
- ④ 歯科用インクジェット材料の特徴について 6コマ 玉置勝司
- ⑤ 健康増進支援補綴装置の革新について 8コマ 玉置勝司

教科書および参考書

Digital Dentistry YEAR BOOK 2016 (別冊 QDT)

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

特論の前には、講義内容を確認をし、事前配布資料にある理論を熟知して講義に臨むこと。

大学院生が達成すべき行動目標

- ① CAD/CAM法の特徴を説明できる。
- ② 積層造形法の特徴を説明できる。
- ③ 一体型有床義歯製作法を説明できる。
- ④ 歯科用インクジェット材料の特徴を説明できる。
- ⑤ 健康増進支援補綴装置の革新を説明できる。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	その他
0%	0%	50%	0%	0%	50%	0%

評価の要点

- I. 口頭試問は、授業計画の5項目について行った講義の知識の理解度を判定する。10%×5回=50%
- II. レポートは、授業計画の5項目について課題を提出する。10%×5回=50%

理想的な達成レベルの目安

I. II. の総合で理想的な達成レベルは80%以上とする。